

## 「横川中学校の郷土学習 文化財探訪の取組」

### 1 学校名

霧島市立横川中学校

### 2 学年・人数

1年生（計30人）

### 3 日時・場所

- (1) 山ヶ野金山遺跡の見学  
令和4年6月30日（木）
- (2) 横川校区内町歩き  
令和4年10月4日（火）
- (3) 文化祭での発表  
令和4年10月28日（金）

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

- (1) 名称・時代
  - ・ 山ヶ野金山遺跡 江戸時代～昭和時代
  - ・ 横川校区（大隅横川駅 他） 明治時代～昭和時代
- (2) 特徴

山ヶ野金山は、霧島市横川町からさつま町にかけて広がる金山で、江戸時代初めの1640年に発見され、1965年に閉山した。現在までの金産出量は、国内第7位である。毎年、2月から3月に「山ヶ野ウォーキング大会」が開催されており、横川中学校の生徒もボランティアとして説明班に参加している。

横川校区には、県内最古の木造駅舎である大隅横川駅や明治時代からの建物が残されている。特に国の有形登録文化財が2棟残されている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

山ヶ野金山学習は、集団宿泊学習における郷土学習の一環として、山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会で史跡の保存・活用に取り組んでいる方や山ヶ野地区自治公民館長、霧島市役所横川総合支所の協力を得て、取り組んでいる。また、先輩方が作成したウォーキング大会での説明資料も学習に活用した。

横川校区町歩き学習では、総合的な学習の時間に、横川町歩きグループの方に、大隅横川駅や横川校区に残る2棟の国の有形登録文化財の建物、西南戦争時に西郷軍が通った道、岡山県にある川崎医科大学の創設者の生家跡などを案内していただいた。特に、大隅横川駅に残されている明治時代の天井の意匠については、初めて知る生徒も多かった。

### 6 活用の取組の工夫した点

文化祭において、スライドと劇で、学習した内容を全校生徒や保護者に発表した。劇では、生徒自らが脚本を作り上げた。

## 7 取組の様子



山ヶ野金山学習



横川町歩き



文化祭での劇



文化祭でのスライド発表

## 8 参加生徒・教員の感想

### 【生徒の感想】

- 山ヶ野金山について、深く知ることができた。もっとくわしく知りたかったと思った。
- 山ヶ野金山に、山の神様がいたことにびっくりした。
- 山ヶ野金山は、日本最大の金の産出量を誇っていたのに、閉山した理由が気になった。
- 横川に住んでいても知らないことがたくさんあった。
- 横川に、歴史のある建物が二つも残されていることにびっくりした。
- ふだん歩いている道にも、いろいろな歴史があることを知って、横川はすごいところだと思った。

### 【教員の感想】

横川には、多くの歴史があることや横川の歴史を伝える活動、町の活性化を目指す活動を行っている人々がいることに生徒自身が気づいてくれてよかった。これからも、地域と協力して、生徒とともに横川のことを学んでいきたい。